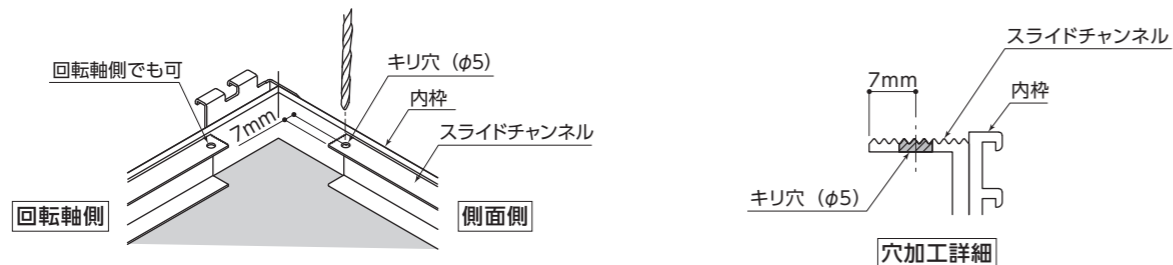


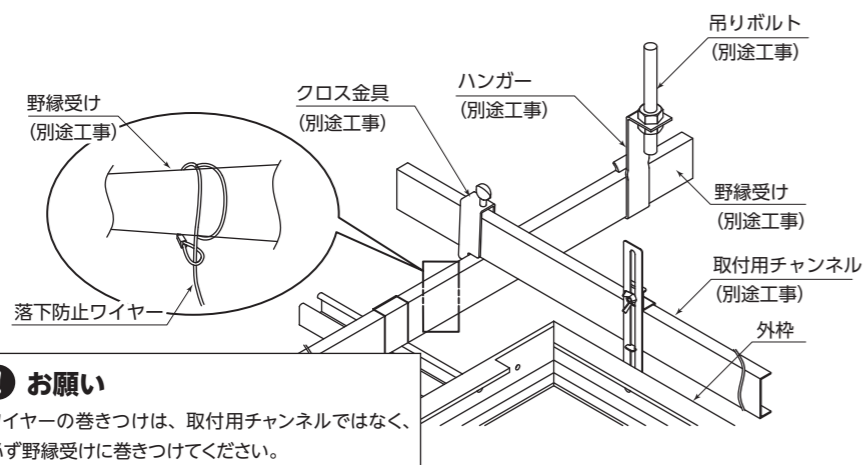
### 1 内枠 スプリングフック取付用の穴加工 L=600の場合

内枠のスライドチャンネルの端部より7mmの位置にφ5の穴をあけます。  
※回転軸側・側面側のどちらでも取り付け可能です。



### 2 落下防止ワイヤーの巻きつけ

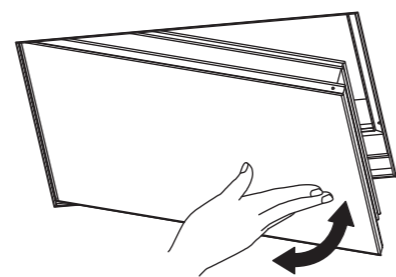
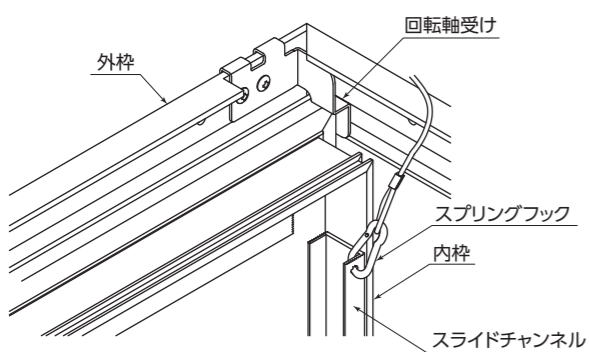
ワイヤーを野縁受けへ一周させて巻きつけます。  
野縁受けの位置によって、ワイヤーが長すぎる場合は、数回巻いて調整してください。



**お願い**  
ワイヤーの巻きつけは、取付用チャンネルではなく、必ず野縁受けに巻きつけてください。

### 3 スプリングフック取り付け、開閉動作の確認

内枠にスプリングフックを取り付け、内ふたの開閉動作に支障がないか確認してください。



**お願い**  
内ふたの開閉動作に支障がないことを、必ず確認してから施工を完了してください。

内ふたの開閉動作に支障がなければ完了です。

#### お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

**ナカ工業株式会社**

URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

**ナカテクノタタル株式会社**

URL <https://www.naka-techno.co.jp>



QRコードを読み取りアクセスしてください。

●商品改良のため、記載内容については予告なしに変更することがありますのでご了承ください。●無断転載を禁じます。

24式施-ODS-1型

## 天井点検口 ハイハッチODシリーズ (ODMM/ODGM/ODGG/ODMG)

**安全上のご注意** 使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

#### 用語および記号、絵表記の説明

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表記の例

- △記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
- 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
- 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

#### 施工の前に

**警告**

**分解禁止** **製品の分解・改造は行わない**  
施工業者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造は行わないでください。これらを無視した場合、使用中に製品が落下し、思わぬケガの原因になります。

**強度を確認** **必ず強度のある天井下地に取り付けてください。**  
強度が充分で無い天井下地に取り付けると、点検口が外れて落下することがあります。

**開口補強する** 強度が充分で無い場合は開口補強を行ってください。

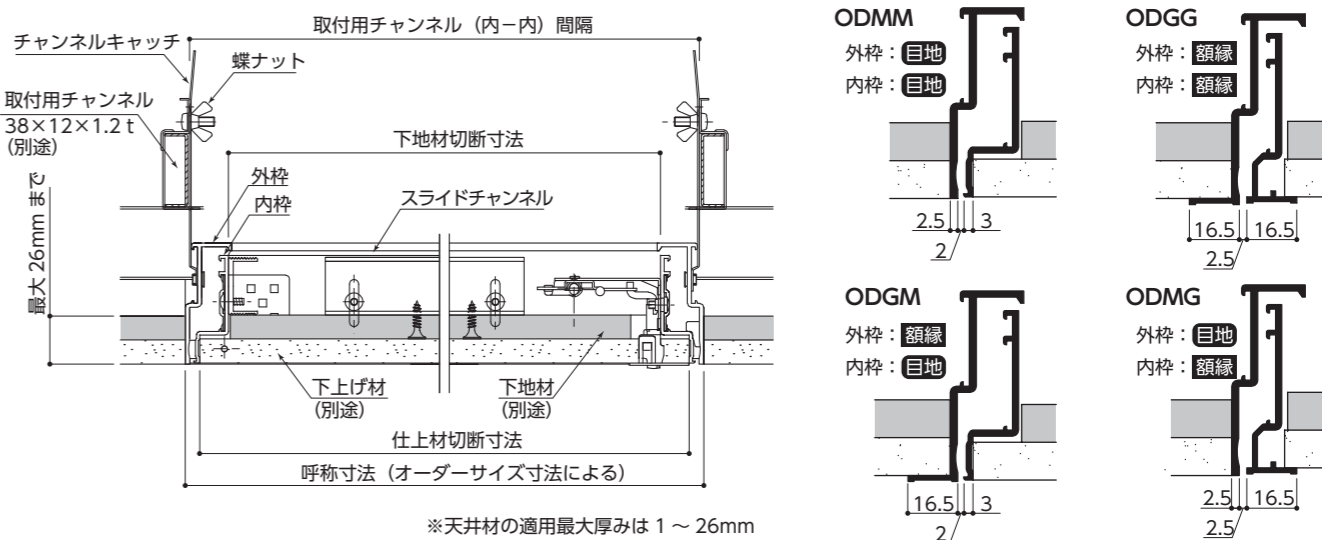
---

**注意**

**障害物の確認** **取り付ける場所が事前によく確認してください。**  
内ふたを開けた時、壁や障害物にあたらないように位置や向きに配慮して取り付けてください。衝撃でハッチが破損する場合があります。

**お願い** **取り付け完了後、ハッチにガタツキが無いことを確認してください。**  
ハッチにガタツキがあると、内枠の落下の原因になります。また、内枠のロックが外枠に確実にかかっていることも確認してください。

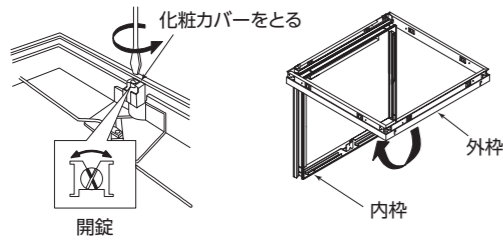
#### 納まり図 (本製品は、特注サイズ対応用の点検口です。枠の種類(目地・額縁)により4タイプの組合せがあります。)



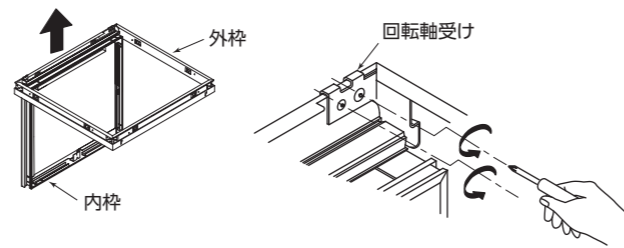
※天井材の適用最大厚みは 1 ~ 26mm

## 1 内枠の取り外し

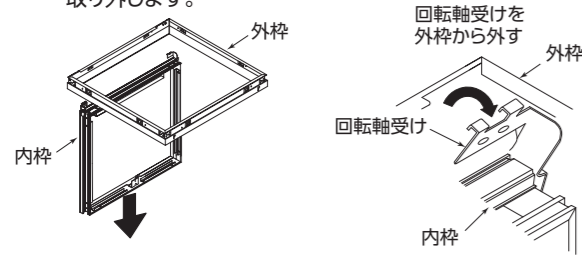
- ① ドライバーもしくはコインなどで操作軸をまわし、開錠してください。



- ② 外枠を固定し、内枠を90°に開き、回転軸受け固定用のねじを外し、内枠を上方向に移動させます。



- ③ 内枠が外枠から外れたら、内枠を矢印の方向に取り外します。



## 2 外枠の天井下地への固定

- ① 取付けに不要な野縁(Mバー)を、天井開口にかからない寸法で切断します。

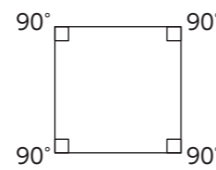
- ② 取付用チャンネル2本を下表の寸法で天井開口の中心振り分けとし、平行に野縁受け(チャンネル)に載せ固定します。

サイズ	取付用チャンネル(内々) 間隔 (mm)	天井開口寸法 (mm)
□909 (1枚ふた)	約 906	909×909
□1200×1200 (2枚ふた)	約 1197	1200×1200
□1200×1500 (3枚ふた)	約 1197	1200×1500

※上記表は本製品の最大寸法の場合を示します。本製品は、受注対応品のため、参考数値となります。

### ！ポイント

開口は対角線を正確に守って開けてください。開口がいびつな場合、外枠が入らなかったり、内ふたが開まらないおそれがあります。

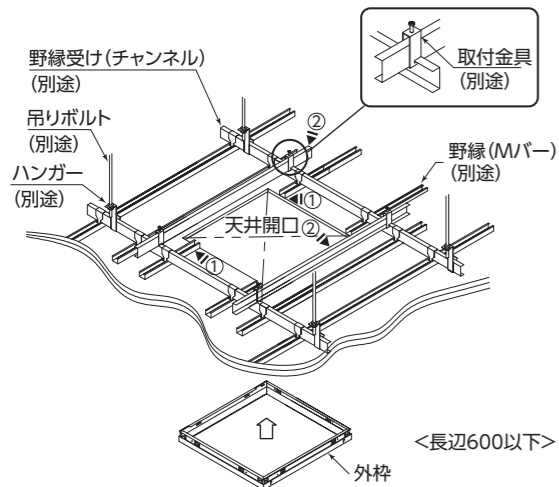


### ！注意

強度が充分で無い天井下地に取り付けると、点検口が外れて落下することがあります。強度が充分で無い場合は開口補強を行ってください。

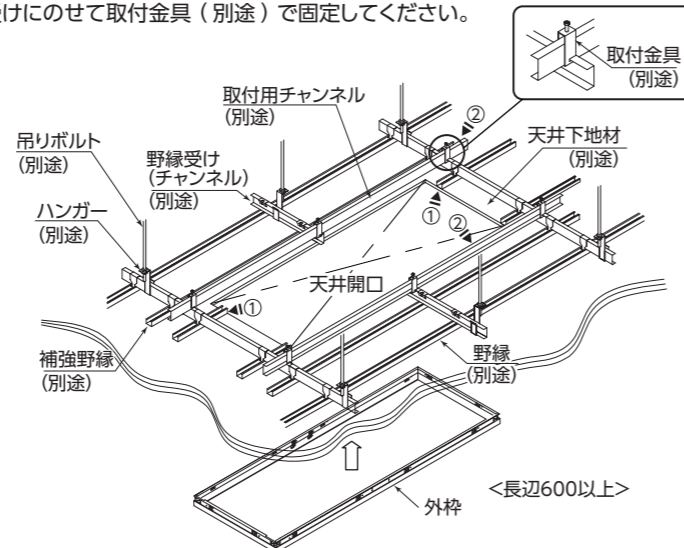
### <1枚ふたの納まり例>

取付用チャンネル 2本(現場にて別途用意)を野縁受けにのせて取付金具等(別途)で固定してください。



### <2枚ふたの納まり例>

取付用チャンネル 2本(現場にて別途用意)を野縁受けにのせて取付金具(別途)で固定してください。

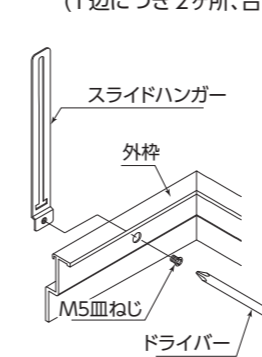


- ③ 外枠を付属のチャンネルキャッチで、取付用チャンネル(※別途)に固定します。

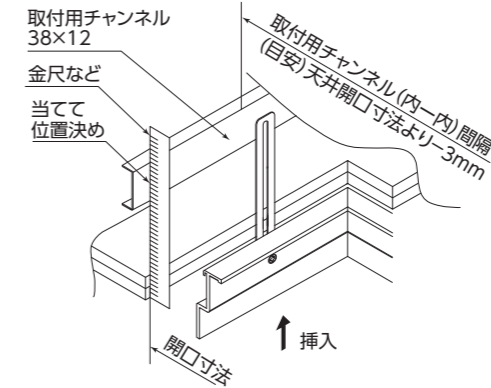
取付方法は下記を参照ください。(※取付用チャンネルは38×12とし、t=1.2mm以上)を推奨します。

## 外枠をチャンネルキャッチで取付ける場合

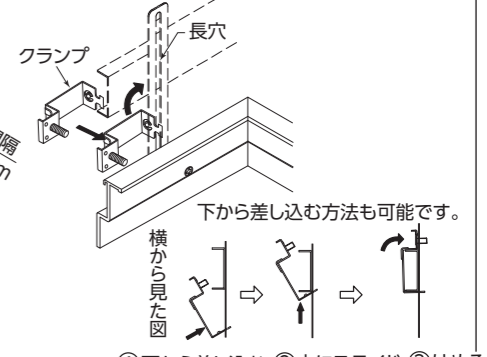
- ① 外枠の穴にスライドハンガーを付属のねじで固定します。(1辺につき2ヶ所、合計4ヶ所)



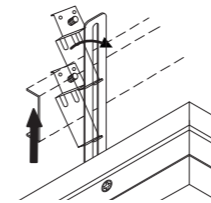
- ② 外枠を天井下地材の開口に挿入します。



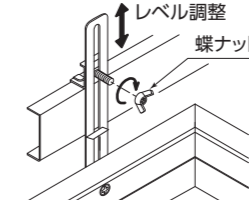
- ③ クランプを横にして長穴に差し込み、回転させます。



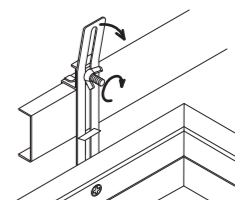
- ④ クランプを上へスライドし、はめてください。



- ⑤ 付属の蝶ナットを取り付け、外枠のレベルを調整し、仮固定します。



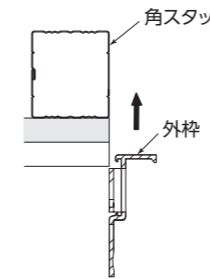
- ⑥ 蝶ナットを増し締めして固定します。(スライドハンガーが内側に曲がります。)



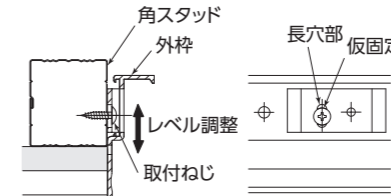
- ①下から差し込む ②上にスライド ③はめる

## 外枠を角スタッドに直接固定する場合

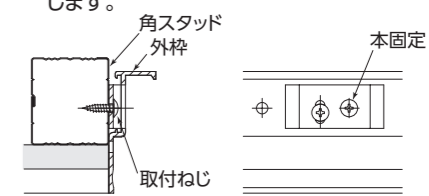
- ① 外枠を天井下地材の開口に挿入します。



- ② 外枠の長穴部で仮固定します。



- ③ 外枠のレベル調整し、取付ねじで本固定します。



### ！注意

角スタッドの内寸法は必ず天井材開口寸法と同じにしてください。

### ！注意

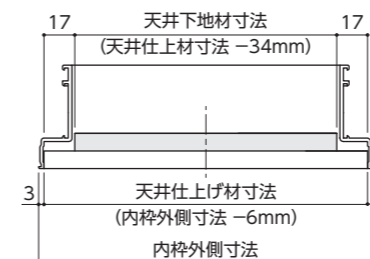
取付ねじが緩んでいたり締めこみすぎると、外枠が変形し、内ふたが開まらないおそれがあります。

## 3 内ふたの施工

- ① 天井材を所定の寸法に切断します。 ※下記表は本製品の最大寸法の場合を示します。本製品は受注対応品のため、参考数値となります。

### 【内枠目地タイプ】ODMM、ODGM

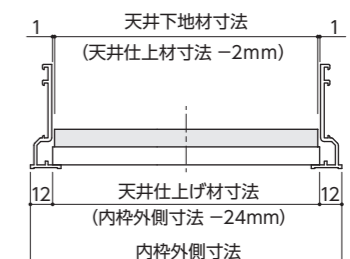
サイズ	天井仕上材	天井下地材
□909 (1枚ふた)	894×894	860×860
□1200×1200 (2枚ふた)	588.5×1185	554.5×1151
□1200×1500 (3枚ふた)	490×1185 (落としふた用) 489×1185	456×1151 (落としふた用) 455×1151



【2枚貼りの場合】

### 【内枠額縁タイプ】ODGG、ODMG

サイズ	天井仕上材	天井下地材
□909 (1枚ふた)	875×875	873×873
□1200×1200 (2枚ふた)	570×1166	568×1164
□1200×1500 (3枚ふた)	471×1166	469×1164



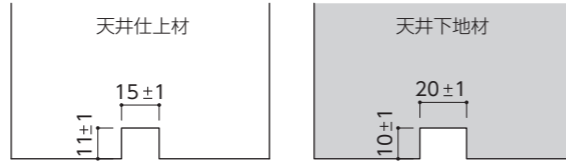
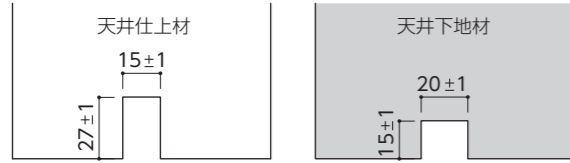
【2枚貼りの場合】

② 図のように係止部を切り欠いてください。

内枠が **目地** の場合 (ODMM、ODGM)

内枠が **額縁** の場合 (ODGG、ODMG)

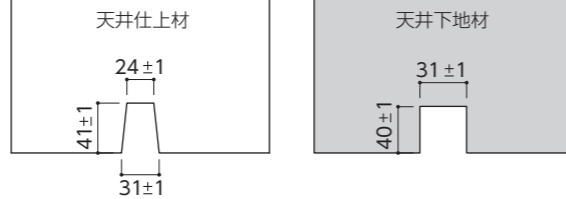
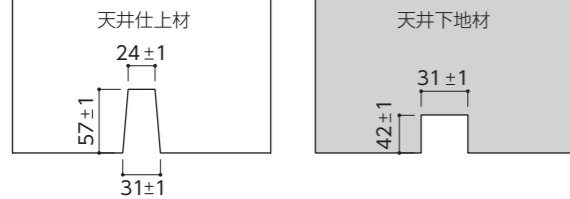
標準の場合



内枠が **目地** の場合 (ODMM、ODGM)

内枠が **額縁** の場合 (ODGG、ODMG)

鍵付きの場合



内ふた施工の続き

### ODMM、ODGMの場合

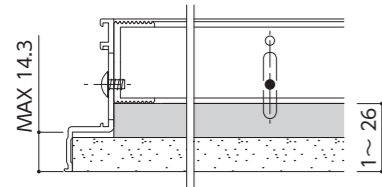
③ 天井材に補強材を取付ねじ (別途) で 2 箇所ずつ取付けます。

※取付ねじは、ワンタッチねじなどの軽量下地用ねじを使用してください。  
 ※取付ねじは 1 辺につき 2 本、計 10 本を均等に使用してください。  
 枠サイズが 606 を超える場合は、ねじの本数を増やしてください。

④ 天井仕上材を天井下地材に接着固定してください。

※接着剤が固まるまでの仮固定として、釘またはステープルで固定してください。

⑤ スライドチャンネルのねじを緩めて、天井仕上材と内枠に捻じれや膨らみが無く、天井仕上材の内枠の目地が同一の面となるように調整して再度固定してください。



**注意**

天井仕上材の表面と内枠の目地が同一の面でなかったり、捻じれ・膨らみがある状態で固定すると内枠が変形し、内ふたが閉まらないおそれがあります。

⑥ 化粧カバーを差し込みます。

内ふた施工の続き

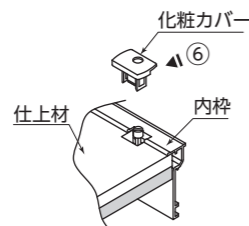
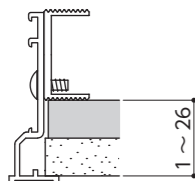
### ODGG、ODMGの場合

③ スライドチャンネルを一旦外し、内ふた仕上材を内枠にセットします。

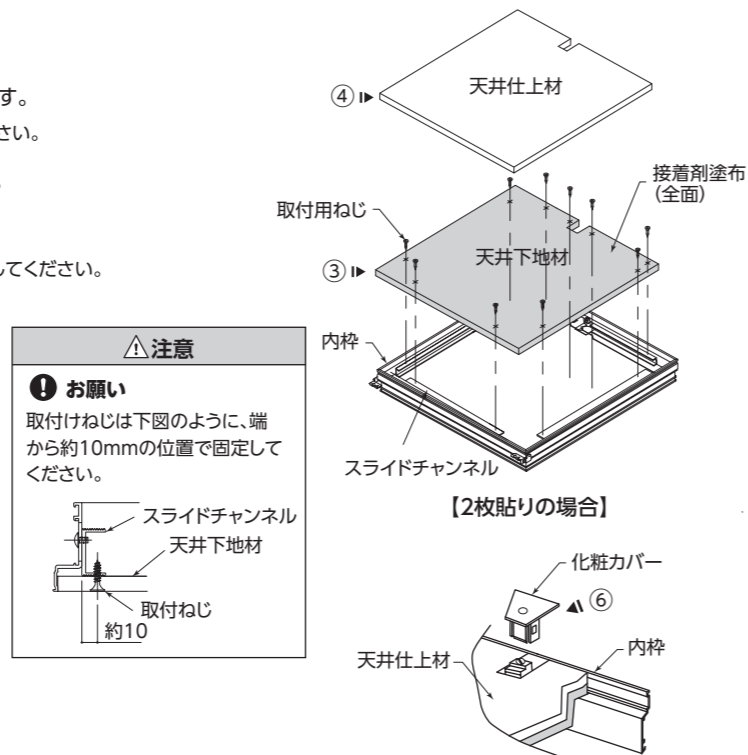
※3 枚ふたの場合、落としふたに内ふた材をセットする際は、グレモンブラケットを外してからセットしてください。

④ 内ふた下地材を内枠にセットします。

⑤ スライドチャンネルで内ふた材を内枠に挟むように押し、ズレないようにスライドチャンネルのねじを固定してください。

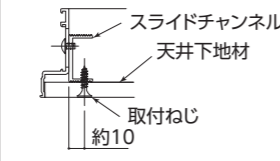


⑥ 化粧カバーを差し込みます。

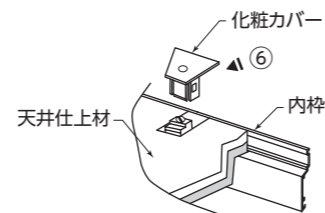


**注意**

**お願い**  
 取付ねじは下図のように、端から約10mmの位置で固定してください。



【2枚貼りの場合】

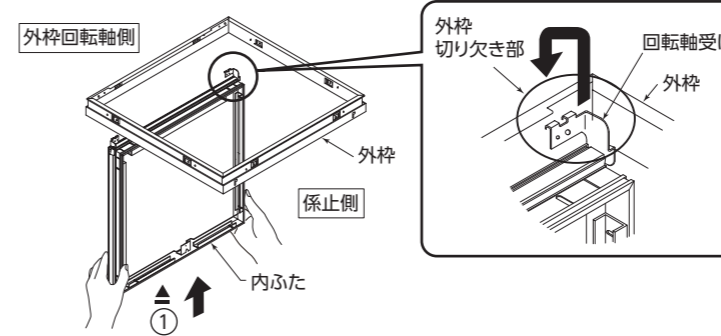


**注意**

【3枚ふたの場合】落としふたに内ふた材をセットする際は、グレモンブラケットを外してからセットしてください。

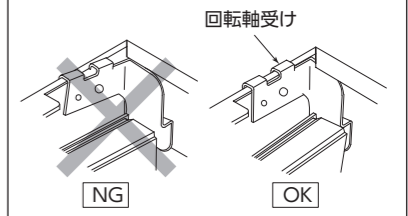
## 4 内ふたの取付け

① 天井に取付けた外枠に対し、下側から内ふたをゆっくり差し込みます。

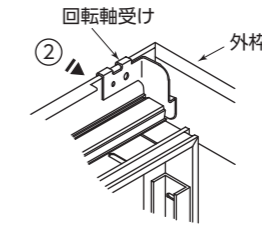


**注意**

回転軸受けを外枠に引っ掛ける際は、両側の回転軸受けが外枠に確実に引っ掛かったことを確認してください。



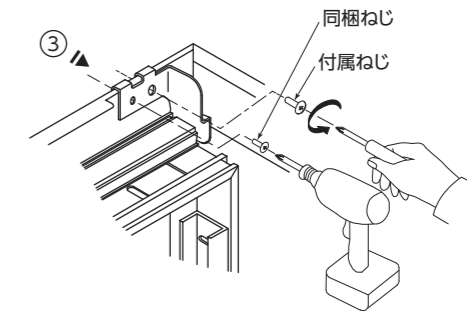
② 外枠切り欠き部に内ふたに固定してある回転軸受けを左右共に引っ掛けます。



**注意**

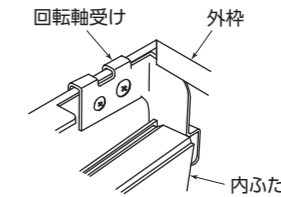
内ふたが重い場合は必ず二人で持ち上げて内ふたを外枠に引っ掛けてください。

③ 回転軸受けの両側を付属のねじで固定し、次に同梱のタッピングねじをインパクトドライバーでしっかりと固定してください。



※付属、同梱の頭形状については、表を参照してください。

種類	付属ねじ	同梱ねじ
ODMM ODGM	十字穴付きトラス小ねじ M5×8	十字穴付きトラス タッピングねじ M5×8
ODGG ODMG	十字穴付き皿小ねじ M5×8	十字穴付き皿 タッピングねじ M5×8

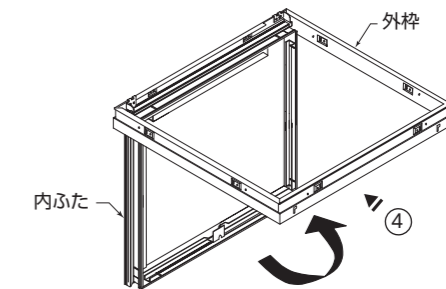


**注意**

回転軸受け用固定ねじは、内ふたの脱落の原因となるため、左右2か所を確実に固定してください。

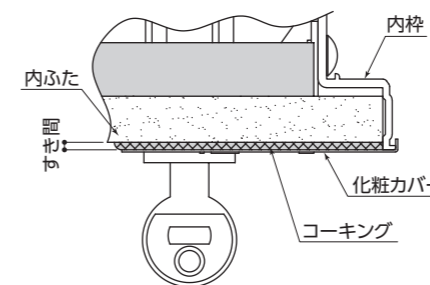
④ 内ふたをゆっくり閉め、係止箇所をロックしてください。鍵付仕様の場合は、鍵もロックしてください。

※ロック方法は「内ふたの開閉方法」を参照してください。



### ポイント

施工によって化粧プレートと内ふたの間に隙間ができた場合は、必要に応じてコーキング等の処理をしてください。



ふたの開閉方法

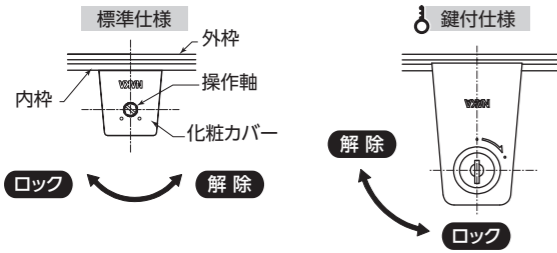
1 開け方

- ① 内ふたを手で押え、操作軸を反時計回りに回しロックを解除し、ゆっくり開きます。
- ② 鍵付きの場合は、①同様操作軸のロックを解除し、中央の鍵にキーを差し込んで解錠します。

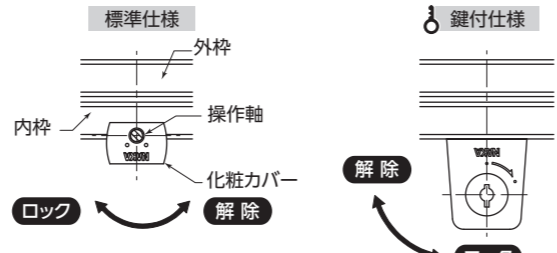
2 閉め方

- ① 内ふたの操作軸側を上を持ち上げます。
- ② 内ふたを手で押え、操作軸を時計回りに回し、ロックをします。
- ③ 鍵付きの場合は、②同様操作軸をロックし、中央の鍵にキーを差し込んで施錠します。

[ODMM, ODGM]



[ODGG, ODMG]



⚠ 注意

❗ お願い

- ロックを解除すると、内ふたが急に開き、思わぬケガをするおそれがありますので、必ず内ふたを手で支えながら操作してください。
- 汚れた手で扱くと、天井材が汚れるので必ずきれいな手またはきれいな軍手で作業してください。

⚠ 警告

❗ 必ず実行

内ふたが確実にロックしているか（操作軸（溝）が突起と同位置になっていること）を確認してください。ロックが中途半端な状態（半掛かり状態）では、急に内ふたが開いて、思わぬケガをするおそれがあります。



○ ロック状態 OK

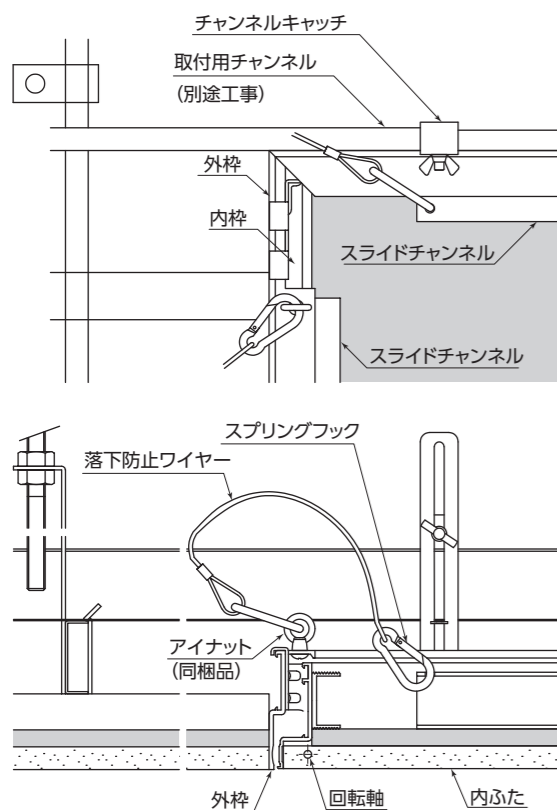


✗ 半掛かり状態 NG

オプション品 ODシリーズ落下防止ワイヤー

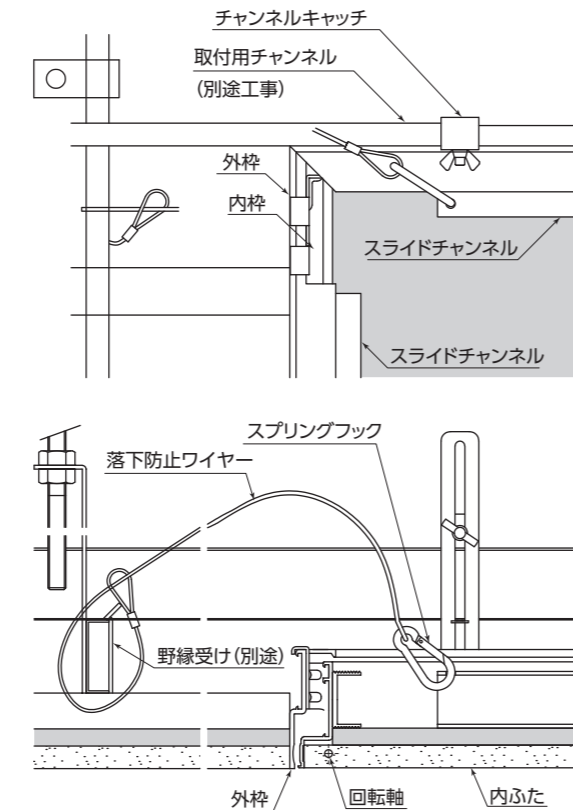
落下防止ワイヤーは、内枠の落下防止を目的としたオプション部品となります。ワイヤー長さ L=175mm と L=600mm で取付方法が異なります。ワイヤーの長さ合った取付方法を参照してください。

L=175 外枠と内枠のスライドチャンネルに取付



※上図はODMMを示しますが、他の種類も同様です。

L=600 野縁受けと内枠のスライドチャンネルに取付



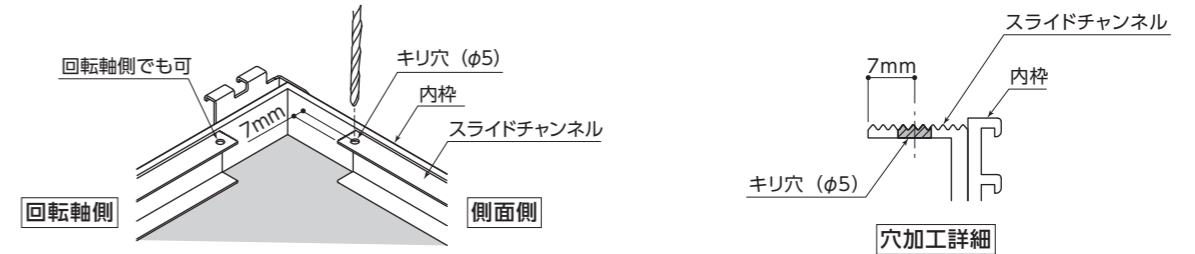
※上図はODMMを示しますが、他の種類も同様です。

落下防止ワイヤー取付方法(オプション)

L=175 の場合

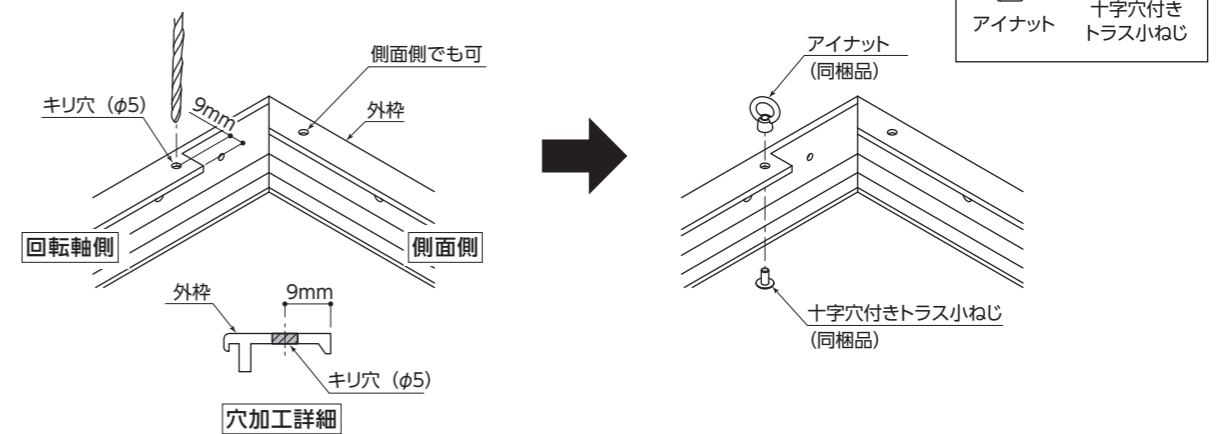
1 内枠 スプリングフック取付用の穴加工

内枠のスライドチャンネルの端部より7mmの位置にφ5の穴をあけます。  
※回転軸側・側面側のどちらでも取り付け可能です。



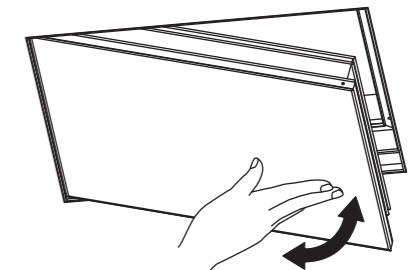
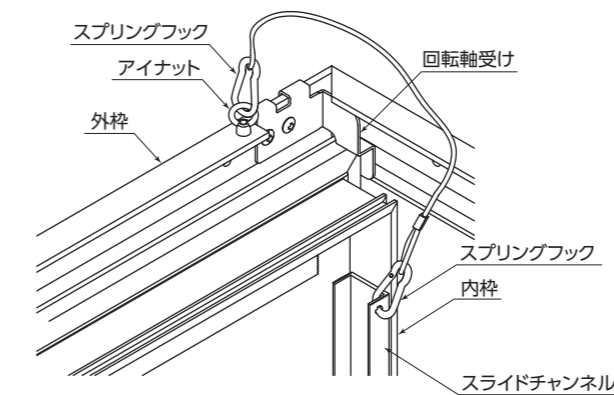
2 外枠 アイナット取付用の穴加工

外枠の上端部より9mmの位置にφ5の穴をあけ、同梱のアイナット（呼び4）と十字穴付きトラス小ねじ（M4×8）を取り付けます。  
※回転軸側・側面のどちらでも取り付け可能です。



3 スプリングフック取り付け、開閉動作の確認

外枠のアイナット、内枠のスライドチャンネルにスプリングフックを取り付け、内ふたの開閉動作に支障がないか確認してください。



❗ お願い

内ふたの開閉動作に支障がないことを、必ず確認してから施工を完了してください。

内ふたの開閉動作に支障がなければ完了です。